

三河商人道

PART
133

黒野晃司税理士事務所
所長 黒野 晃司 君

青年部は、刺激の場!!



「青年部は、刺激の場!!」とたいへん熱く語って頂いたのは黒野晃司さん。人と人との間で生まれるコミュニケーションを大切に、楽しいことや、辛いことなど、様々な意味での人間関係を青年部で学ばれたそうです。

黒野さんは現在、竜美旭町で黒野晃司税理士事務所を経営されています。若い頃から税理士になりたいと思っていたわけではなく大学を卒業後、コンピュータ系の会社に勤めている間に、あるきっかけから税理士という仕事に興味を持ち、働きながら勉学に励み、資格を取得されたそうです。

事務所の方針としては、お客様に『安心』を提供すること、問題に対して迅速に対応することを心掛けてみえるそうです。税理士以外にも業務に関連した資格を多数取得し、お客様のニーズに応えられる体制を整えておられます。中でも中小企業経営力強化支援法に基づく経営革新等支援機関の認定は全国第一号で取得されました。詳細は、黒野税理士事務所のホームページを閲覧していただければ事務所のことが分かりやすいのでぜひご覧下さいとのことでした。

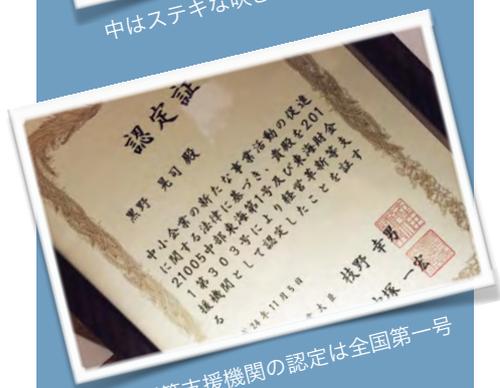
平成17年9月に独立開業をされ、翌年、仕事上での先輩でもあるYEGメンバーの柴田匡司さんに、夜の10時過ぎに青年部の説明を聞き、その後すぐに事務局へ連絡していただきました。こんな遅い時間からでも熱心に対応していただいたことで入会を決められたそうです。きっかけはあまり積極的ではなかったものの、いい機会を頂けて柴田さんには感謝しているとおっしゃっていました。

青年部で最も印象に残っている思い出は、委員長として岡崎商工会議所青年部20周年記念誌の編纂に携わったことだそうです。記念誌は、何度も何度も作り直し、苦勞してやっとの思いで完成にこぎつけたとの思い出を語られました。他には、鈴鹿8時間耐久レースに有志のチームで出場したことや、毎年恒例の岡崎観光夏祭りのお神輿を青年部のメンバーと楽しく担いだこと、また東海ブロック大会やYEGDAYなど大きな行事に参加できたことだと当時を振り返って話されました。

最後に、多くの青年部の仲間とともに過ごした貴重な時間は、とても充実していたので、青年部で得た経験を今後の人生に生かしていきたいと笑顔で締めくくっていただきました。我々後輩たちもこの取材を通じて青年部の良さを再認識でき、今後の青年部活動に生かしていきたいと改めて思った取材となりました。



中はステキな吹き抜けのオフィス



経営革新等支援機関の認定は全国第一号



取材スタッフと一緒に記念撮影



取材担当/
情報発信委員会
鈴木久雄・二宮伸建・
都築真琴